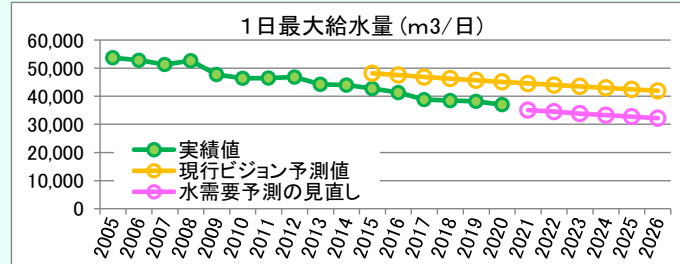
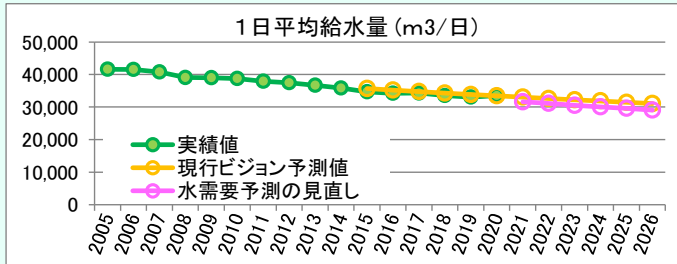


❖ 将来の事業環境（見直し）

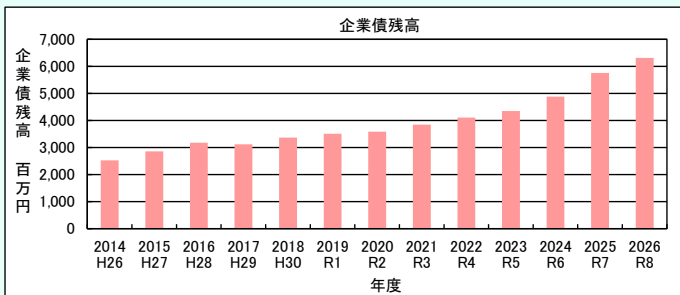
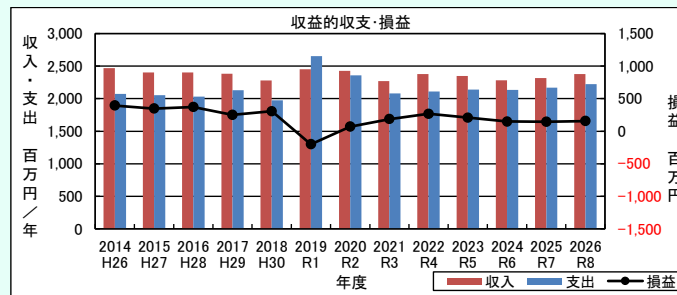
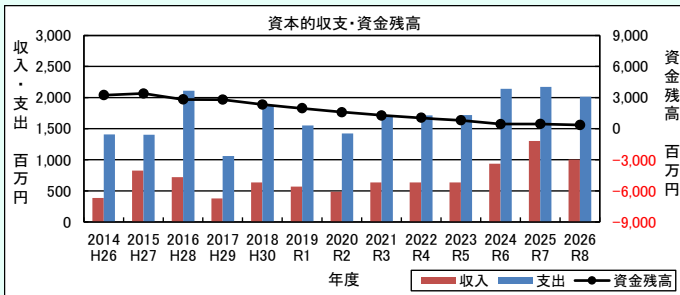
水需要の将来見直し

現行ビジョンの予測値と近年の実績値との間で乖離が見られたため、見直しを行いました。目標年度（令和8(2026)年度）における一日平均給水量は29,100m³/日、一日最大給水量は32,300m³/日とします。



財政収支計画

下図は令和3(2021)年10月1日に実施した料金改定(15%)と令和7(2025)年10月1日に予定している料金改定(10%)を踏まえた財政収支計画になります。収益的収支は単年度黒字を維持し、計画に基づいた施設整備を行うための資金も確保されています。一方で、企業債残高の増加が予想されるため、補助金(交付金)の活用など、これ以上の増加を抑制するための対策が必要となります。人口の減少等に伴い給水収益の回復が望めない中で、老朽化した施設の補修や設備の更新、管路の更新・耐震化に対応するためには、さらなる財源確保の他、事業の効率化などによる支出の抑制についても検討する必要があります。



❖ フォローアップ

本ビジョンで示している目標の達成に向けて、各種取組を計画的に推進していきます。

また、PDCAサイクル(右図)に基づいて、毎年、取組の進捗状況や目標の達成状況を確認・検証します。

さらに、富田林市水道事業を取り巻く環境の変化や市民の皆さまの意見・要望も把握しながら、概ね10年ごとに水道事業ビジョンの全面改訂を行い、必要に応じてその中間年度に一部改訂(今回の一部改訂はこれにあたります)を行います。



❁ 富田林市上下水道部

〒584-8511 大阪府富田林市常盤町1-1
☎ 0721-25-1000

🌐 <http://www.city.tondabayashi.osaka.jp/public/section/water/index.htm>

富田林市水道事業ビジョン
【概要版】

平成29(2017)年3月
(令和4(2022)年3月一部改訂)

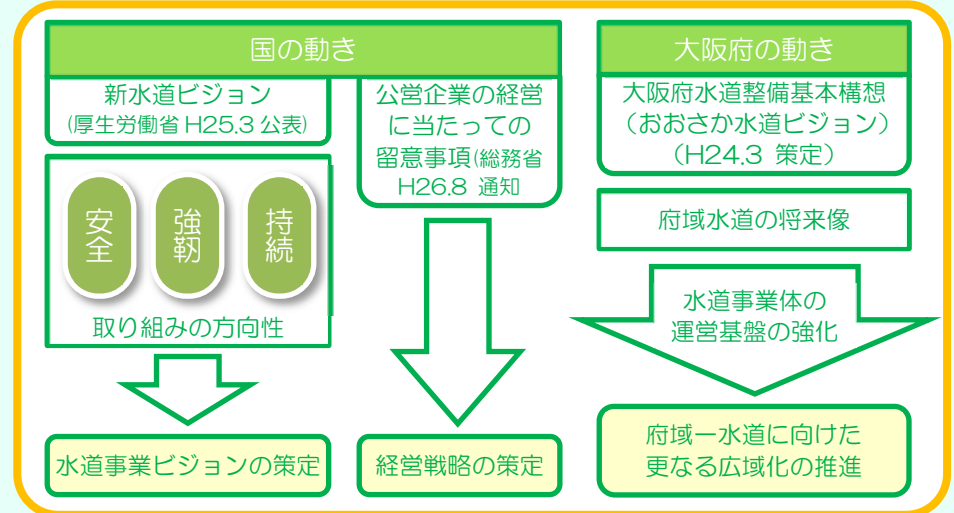


「富田林市水道事業ビジョン」(計画期間:平成29(2017)年度から令和8(2026)年度までの10年間)について、計画期間の中間の5年目を迎えたことから、時点修正(一部改訂)を行いました。

❖ 富田林市水道事業ビジョン一部改訂の背景・目的

「富田林市水道事業ビジョン」は50年、100年先の水道の理想像を踏まえた上で、「安全」「強靱」「持続」の観点から課題を抽出し、その課題に対処するための10年間の具体的取組を示したものです。

平成29(2017)年3月の策定以降の水道を取り巻く環境の変化やビジョンに示した基本施策と具体的取組の達成状況を踏まえて時点修正(一部改訂)を行いました。



基本施策・具体的取組の達成状況の確認

富田林市水道事業を取り巻く環境の変化

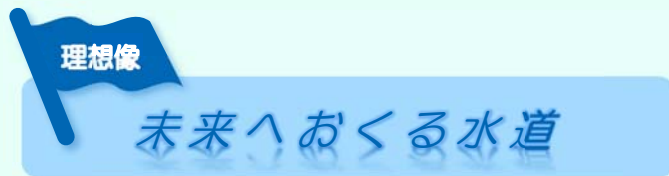
- 人口・給水量の予測値と実績値との乖離
- 新型コロナウイルス感染症の水道事業への影響
- 料金改定の決定
- 水道法の改正(令和元年10月1日施行)など

富田林市水道事業ビジョン
(計画期間:平成29~平成38(令和8年度))
【10年間】

富田林市水道事業ビジョン令和3年度一部改訂
(計画期間:令和4~8年度)
【5年間】

富田林市水道事業ビジョン改訂
(令和8年度予定)

❖ 水道事業の理想像と目標



3つの目標

- 安全 → 「安全・安心な水道」～水源から蛇口まで～
- 強 韌 → 「強靱な水道」～災害にへこたれない～
- 持 続 → 「持続可能な水道」～いつまでもすぐそばに～

富田林市水道事業ビジョンでは、「安全・安心な水道」～水源から蛇口まで～、「強靱な水道」～災害にへこたれない～、「持続可能な水道」～いつまでもすぐそばに～の3つを目標として掲げ、さらにこれらの目標が実現された水道を未来へおくること、即ち「未来へおくる水道」を理想像として定めています。

引き続き、この理想像と目標を市民の皆さま及び職員をはじめ関係者で共有し、安全な水道水を災害時にも安定しておくことで、市民の皆さまの信頼を高め、これを未来まで引き継いでいくことを目指して、各種取組を推進していきます。

❖ 目標の実現に向けた具体的取組

